

外部評価

令和3年度 中央区立日本橋小学校 外部評価報告書
評価委員：岩上委員長、柏原副委員長、今江委員、八尾委員、東委員 報告書作成者：今江委員
評価時期 令和4年3月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>【重点目標1（分かる授業を追求する楽しい学校）について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 児童アンケート「授業の内容はよく分かるか」という設問の回答（5ポイント増95%）から、児童の「分かる楽しさ、自分の能力が伸びる喜び」につながっていることが分かる。・ 保護者アンケート「教員は、学習内容が分かりやすく楽しい授業をしている」という設問の回答（4ポイント増88%）から、全教職員が、良い授業を追究していることが分かる。・ 今後も、先生方が児童の分かる楽しさ、伸びる喜びを共有し、自身の喜びとすることができるよう研修等に励んでいただきたい。 <p>【重点目標2（授業規律・生活規律を徹底する規律ある学校）について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保護者アンケート「全ての児童が、ルールやきまりを理解し、自分たちで進んで守ろうとしている」という設問の回答（7ポイント増71%）、児童アンケート「学校の約束を守っていますか」という設問の回答（2ポイント増92%）から、目標が達成されつつあることが分かる。引き続き、達成に向けて指導を続けてほしい。・ 学校ホームページなどで紹介されている取組の様子などからも分かるが、人権教育や命と心の授業、道徳の授業、挨拶活動、特別支援教育などを通して、これからも、自他の生命や相手の気持ちを尊重し、共に学ぶ態度や実践力を育ててほしい。 <p>【重点目標3（新しい校風を創造する愛される学校）について】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 保護者アンケート「地域人材の活用を通して、学校と地域の絆を深めている」という設問の回答（13ポイント増88%）、「児童の学校生活や成長の様子、活動している姿など「日本橋小学校らしさ」を家庭や地域に発信している」という設問の回答（12ポイント増88%）から、学校は保護者や地域の思いや願いに寄り添い、共によりよい学校を創造していこうとする機運を醸成していることが分かる。 <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none">・ 基本的な生活習慣の定着を図り規律ある学校生活を徹底するために、様々な活動を児童に親しみやすいネーミングにするなど、取組の定着に向けた工夫があると良い。・ コロナ禍でも学校生活の様子が見えるようにするために、学校ホームページ、タブレット端末の活用、授業公開など、活動の様子が見られるようにさらに工夫すると良い。 <p>3 その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・ コロナ禍の学校生活においても、児童が気持ちを表現したり、互いの気持ちを読み取ったりできるように、環境整備や指導の工夫をしていくべきである。・ ICT機器の活用が進む中で、タブレット端末の利用ルールや利用方法を保護者と学校が常に共有して、適切に活用できるようにしていくべきである。